《コース専門教育科目 コース専門基礎科目》

科目名	相談援助				
担当者氏名	昇　慶一				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択必修	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力					

《授業の概要》
社会福祉、特に保育の現場における相談援助の概要を理解した上で、ソーシャルワークの方法や技術を用いて、援助対象者の問題を見極め、問題解決に向けた援助を展開していく対人援助の過程を学習する。
具体的な事例分析や課題解決に向けたワークなどの演習に対して、主体的な参加が求められる。

《授業の到達目標》
相談援助の概要とソーシャルワークの理論を理解する。援助対象者の問題を見極めるアセスメントの力を養う。また、社会資源の理解を深め、問題解決に向けた援助を行うスキルを養う。

《成績評価の方法》
平常点（受講態度など）20%、 中間試験　40%、 期末試験　40%

《テキスト》
相澤譲治・井村圭壮・安田誠人 編著『児童家庭福祉の相談援助』建帛社

《参考図書》
必要に応じて資料を配布する。

《授業時間外学習》
児童福祉に関する代表的な社会資源としてどのようなものがあるかについて、他科目の復習等により自主的に学習しておくこと。
中間試験では知識・理解を中心として出題を予定しているので、講義各回の復習に努めること。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	相談援助の基本	オリエンテーション及び相談援助の基本的内容
2	相談援助の意義	現代社会における相談援助の必要性
3	相談援助の原則（1）	ソーシャルワークの理解とバイスティックの原則
4	相談援助の原則（2）	相談援助の原則に基づいた援助関係の構築（ロールプレイ演習）
5	相談援助の機能	社会福祉の現場において相談援助が果たす役割
6	相談援助の方法と技術	相談援助の支援アプローチ（ストレングスアプローチとエンパワメントアプローチを中心に）
7	相談援助の具体的展開（1）	相談援助の対象と過程
8	相談援助の具体的展開（2）	アセスメントの意義と方法
9	相談援助の具体的展開（3）	相談援助における関係機関・専門職との連携及び社会資源の活用・調整
10	知識・理解の振り返りと記録作成	相談援助の意義・原則・具体的展開に関する知識・理解の振り返り 相談援助における記録の作成
11	事例分析（1）	児童虐待事例のアセスメント
12	事例分析（2）	児童福祉施設入所事例のアセスメント
13	事例分析（3）	児童福祉施設入所事例における家族再統合
14	事例分析（4）	家族再統合をテーマにしたロールプレイ演習
15	まとめ	事例分析の振り返りとまとめ